

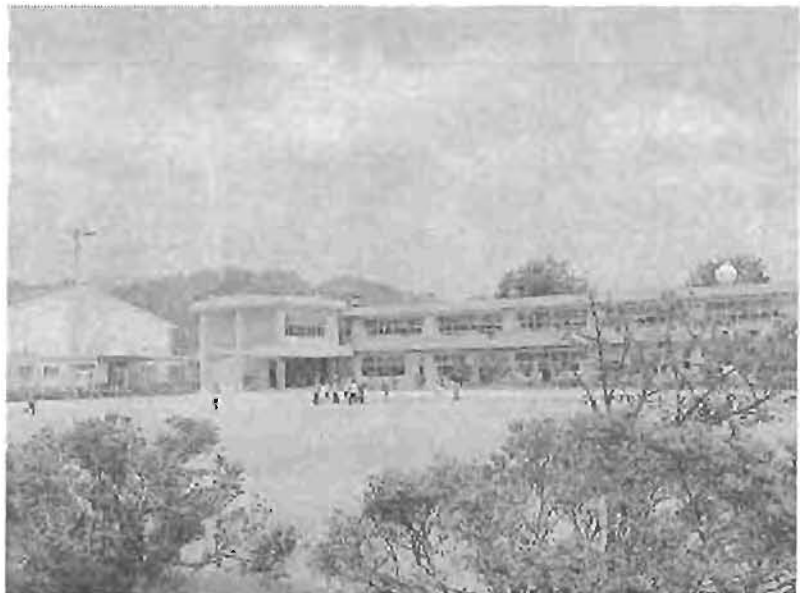
手作り新聞や切り抜き新聞作りを通して、新聞に親しみ・読み・活用できる子どもたちを育てていく指導のあり方

長野県飯田市立三穂小学校 小林英美子 北沢 彰利

1. はじめに

本校は、県の南端飯田市にあって、全校83名の小規模校である。四方を山に囲まれ、旧領主屋敷と古寺を中心にまとまる文化財と自然に恵まれた里である。

学区内に学習塾は無いが、公民館のスポーツクラブに参加する子どもたちは多く、夜や休日も活動は活発である。しかし、余暇利用では、テレビゲームやケーブルテレビの多チャンネルに時間を費やしがちであり、日常的に新聞にふれるといった生活はしていない。



高学年であっても、新聞を読む力は十分とは言えない。

こうした子どもたちが、どのようにしたら「新聞に親しみ・読み・活用できる」ようになるのか、6年生12名を中心として、昨年度から二年間にわたり総合的学習の時間の中で指導のあり方を考え、実践を重ねてきた。

2. 実践の概要

(1) 新聞を読める子どもを育てる

新聞を読むことには、多くの子どもたちが抵抗を持っている。

- 漢字が多く出てくる。
- 文章が長く硬い文章である。
- 専門用語が出てくる。

等が、その原因と考えられる。

そこで、次のような手立てを講じて、新聞を読める子どもたちを育てようと考えた。

【新聞を読む基礎作り】

- ① 漢字の多い新聞を読めるようにするために、漢字検定を中心とした漢字学習に取り組む。
- ② 長い文章を読み取るために、段落の概要をつかむ練習を行う。

- ③ 普段から粘り強く最後まで物事に取り組む態度を育てていく。

【新聞に親しむために】

- ① 新聞に親しみを持つために、手作り新聞に挑戦する。
 ② 自分の好きなテーマ（スポーツ、社会問題、災害等）を決めて、毎日の新聞からテーマに合った記事を見つけて切り抜きをする。

【新聞を活用しての卒業論文作り】（今年度の中核活動）

- ① 新聞を通しての学習の集大成として、自分のテーマを決めた新聞切り抜き帳を作成して「二十一世紀を考える」卒業論文へとつなげていく。

(2) データベースを活用できる子どもを育てる

昨年度は、神戸修学旅行のきっかけとなった「阪神淡路大震災」についての調べ学習を行った。本年度は、4年生がアテネオリンピックでの日本人選手の活躍について調べた。

(3) 実践の歩み

月	学 習 の 内 容	時間
年 間	○ 漢字検定合格を目標として、漢字の学習に取り組む。 ○ 国語学習で、段落の概要をつかむ学習に取り組む。 ○ 粘り強く最後まで物事に取り組む態度を育てる。	随時
平 16 4 月 ～ 7 月	○ 新聞記事を使って卒業論文作りを知り、それぞれがテーマを決めて切り抜き作りを始める。 ○ 切り抜いてきた新聞記事をもとに、卒業論文作りを行う。発表会も行う。	随時 5
平 16 7 月	○ 地域に題材を求めた手作り新聞に挑戦して、県子ども新聞コンクールに応募する。	10
平 16 9 月	○ アテネオリンピックで活躍した日本人選手を一人選んで、データベースを検索し、その選手の活躍や話したことをまとめていく。 【4年生】	5

3. 実践の内容

(1) 新聞を読む基礎作り

- ① 漢字の多い新聞を読めるようにするために、漢字検定を中心とした漢字学習への取り組み。
 ○ 六年生卒業時には、12名全員が3級を合格し、内5名は準2級に合格することができた。

- 校内では、2年生以上が漢字検定に取り組み、漢字を読む力と書く力の充実を図っている。

【5級の漢字】

- 小学校6年生までの学習漢字が読めて、大体が書けるようにする。
対義語 類義語 同音・同訓異字 四字熟語を正しく理解する

読 操作 憲章 貴重 源著名 装置 冊子 存分 果樹園 探査機 遊覧
対義語 寒冷－温□ 定例－□時 類義語 手段－方□ 四字 国際親□

【4級の漢字】

- 小学校学年別配当表のすべての漢字と、その他の常用漢字300字程度を理解し、文章の中で適切に使えるようにする。約1300字の漢字が読める。

読 機縁 遠慮 傾向 主翼 騒然 提訴 汚濁 知恵 安眠 奇抜 交替
対義語 春暖－秋□ 発散－□収 類義語 案内－先□ 四字 才色兼□

- ② 長い文章を読み取るために、段落の概要をつかむ練習を行う。

新聞の文章は、ひとつの段落が長い。ざっと読み通し、要点をつかむ練習をしないと、読むことに疲れてしまう。そこで、次のような練習を行った。

- 普段の国語の授業で、段落の要点を簡単な文章にする練習を意識的に行っていく。
- ひとつの新聞記事を選び、カードに要点を書き出す練習を重ねていく。

- ③ 普段から粘り強く最後まで物事に取り組む態度を育てていく。

これは、言うまでもなく全教育活動に必要な力である。現代の教育が、「その子の興味・関心」や主体性を偏重するあまり、他者や自らによって強いることが少ない中で、貴重なことであると考えている。

(2) 新聞に親しむための活動

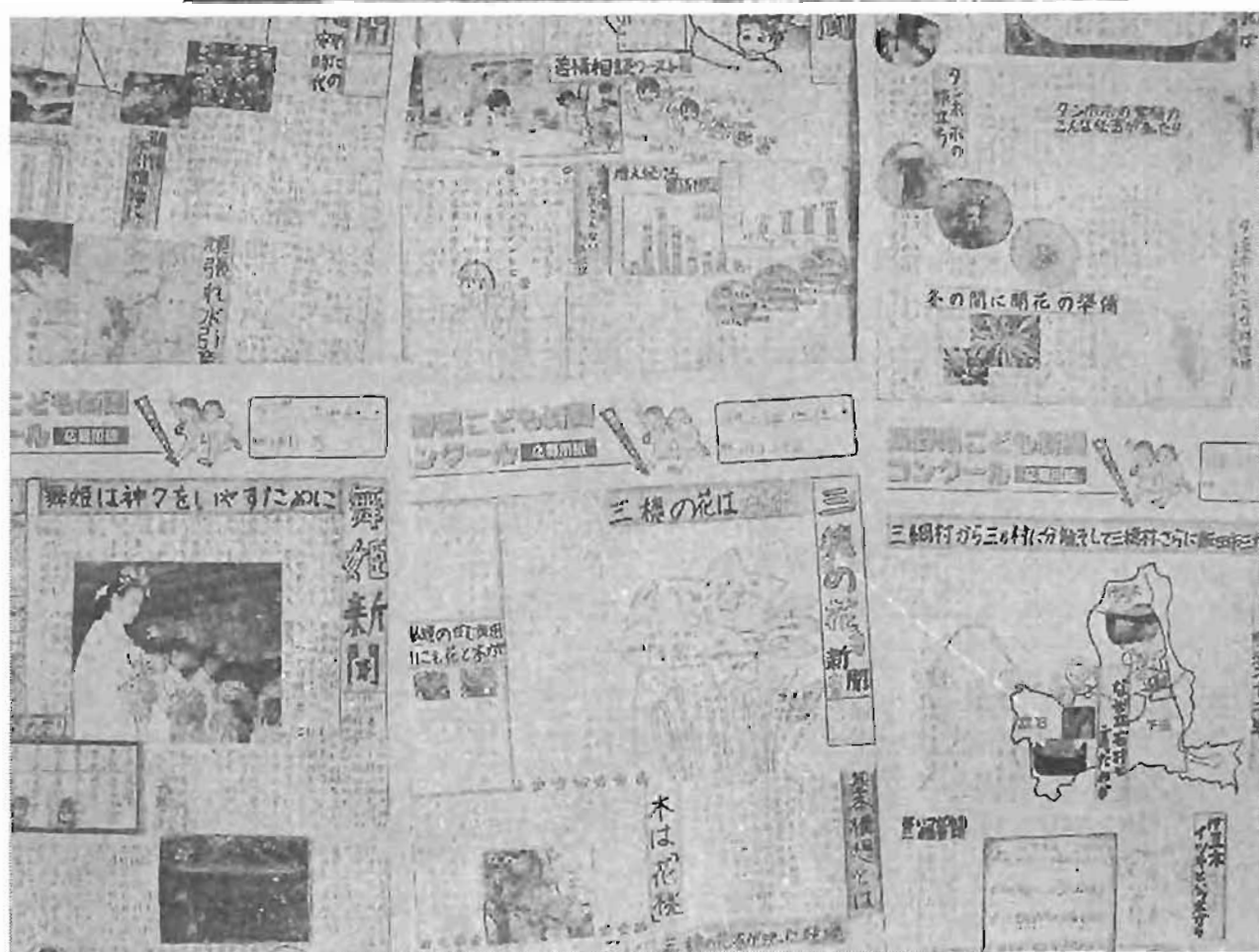
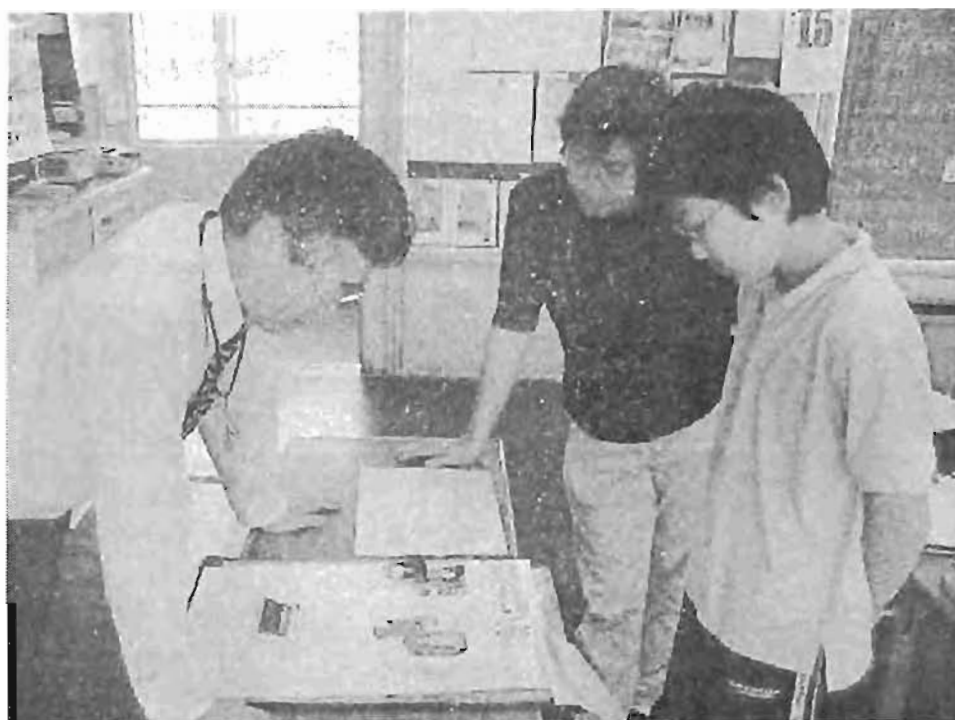
- ① 手作り新聞への挑戦

4年生のときから地域に題材を求めて「県こども新聞コンクール」に応募してきたが、ここ二年は、信濃毎日新聞吉川飯田支社長さんを講師にお願いして、新聞作りの学習を深めてきた。

- 新聞作りを通して、新聞に親しみを持つきっかけとする。
 - 新聞の紙面の工夫について、考える機会とする。
- ことがねらいであった。

結果としては、10人中5人の子どもたちが地方入選を果たし、その内の3人が県の審査でも入選することができた。

この活動を通して、子どもたちの新聞への関心が高まった。



- ② テーマを決めて、切り抜き新聞を作る
新聞の記事を読むことに慣れてきたところで、自分のテーマを決めて5社の新聞から

の切り抜き新聞を作ることには挑戦した。それぞれの興味とセンスが生かされた切り抜き新聞ができあがった。

子どもたちが取り上げたテーマは、次のようなものである。

- アメリカで大活躍の野球選手 ○ 動物 ○ 長野県の祭り
- 海を渡ったサッカー選手 ○ 拉致問題 ○ 陸上自衛隊イラク派遣
- 地震 ○ おそろしい火災 ○ アメリカイラク戦争
- 日本の病気 ○ 今年の農業問題 ○ 危ない環境

◇ 1時間目に切り抜き新聞を作りました。まずテーマを決めてから、その記事を切り取っていきました。私は、拉致問題についてやりました。これは、トップ記事がとて多かったです。明日はいよいよまとめていくので、見やすいように工夫しながらまとめていきたいです。(M)



【切り抜き新聞につけた「私の目」から】

今年の農業問題 冷夏の影響で米が育たないというのは何度も聞いたけど、冷夏や日照不足の他に『いもち病』も発生して被害は平年の3.6倍だった。今年の場合は、新米は不足

しているけど、在庫もあるので93年とは状況が違うそうだ。私は不稔やいもち病にかかったりして被害はすごかったが、在庫の米があったので、十年前のような事にならなくて良かったと思う。来年からまたたくさんとれるように頑張してほしい。(K. Y)

(3) テーマを決めてのスクラップ帳をもとにした卒業論文作り

NIE学習の二年次となる今年は、新聞を活用して小学校学習のまとめをしたいと考えた。そこで、自分のテーマ別に記事のスクラップ帳を作り、それを資料とした卒業論文作りに取り組んだ。

① 卒業論文のテーマを決める

担任から、「二十一世紀に期待するー新聞を読み考えるー」

いよいよ6年生 小学校卒業の年 たくさんの方から たくさん場所で
たくさんのに たくさん学びの場を与えていただいた
でもまだ分からないことが一杯 これからも一杯一杯学んでいきたい
私たちが生きる21世紀に期待しながら
新聞を読むと 私たちの社会には つらいこと 悲しいこと よくないことが
一杯あるようだけど
一人一人の力が集まれば きっとすばらしい社会になる
NIEの方々のおかげで たくさん新聞にふれることができる私たち
今年は新聞記事から事実を知り 私たちの生きる21世紀について
どう考えていったらよいのか 今できる力で考えておきたい

と提案した。それぞれの子どもたちが選んだテーマは、次のようなものである。

日本のスポーツ発展 少年非行をなくせ 地球を動物いっぱい
地球の環境が美しくなるために 日本の工業の発展は なくなれ戦争
世の中の犯罪 美しい地球ですっと生きていけるように 病気にうちかつ
美しい地球に 未来の車 戦争のない平和な世界に

② スクラップ帳とそこに書き込んでいく感想から

【地球を動物いっぱい】(T. S)

6/23 信濃毎日新聞「家計を圧迫ペット医療費」から

○ 今の時代では、人間または犬の高齢化が進んでいる。飼われている犬のうち約4割を占めるとされている。それにこのごろ、種類によっては絶滅まで心配されている犬がいるという。人間と同じアトピーも犬に広がっている。でも、そんな中で人は犬の病気などを頑張って治そうとしている。私は、人々の努力を支えにして犬や猫などいろんな動物が病気にならない強い力を持ってほしいと思う。

○ シュアラ地区攻撃について、カタルの衛星テレビアルジャジーラは、地元病院の話として、「機関銃攻撃により15人が死亡、70人が負傷した」と伝えた。戦争が起きていて、このままの世界だとどうなるのだろう。

日本6連勝

ベトナム戦争

水の都 大分県

○ サマワで大規模交戦があったという。それに、サマワの失業率は70%とも言われて、若者のやり場のない怒りや不満がつもる一方だと思う。それと、十日には又サマワでオランダ軍兵士二人が手りゅう弾攻撃を受けて死亡したそうだ。今も戦争が続いている。早く終わってほしいと思った。

戦争の無い平和な世界に
六年 川上 四佳
私は戦争の無い平和な世界にもテーマにして
て記事を探し、読んできに、今もテレビなど
でイタワの事はやっていゐる。けれど新聞も読
んでおると細かくいゝいゝな事柄の、てい
まず爆発は多くの人命にイタワの女性、子
供、を巻き込みもう一万人近くの人々が死んで
いゝと思ふ。記事を読んでいても一番爆発の
こゝが、かゝた気がする。なんの罪のない人
が次々と死んでいきても残念だ。記事の中
には女性が目撃した時もある。た、もうどの国
も兵器を持たないやうにしてほしい。
それとよく記事の中には虐待の言葉があ
た。米国は虐待をして、世界中の情報を聞き
出そうとしていゝと思ふ。それにいゝんな手
口で虐待をしていゝ。手でなく、た、大に
やらせたり、銃をつきつけたり、終わりに
首を切、て殺害すると言ふこともあつた。も
うそんなことが無いやうに会議などで話合、

Na Na

てほしいと思いた。

あと、三月にはオランダ軍撤退と言う記事

もあつた。日本も守るオランダ軍が撤退して

しまつて日本がすぐやられてしまつて思つた。

その撤退してしまつて三月まで日本は他の国

と強く結び付かなくなつてしまつた。

それに二月ごろにイラクで大規模な地震が

あり、多くの人が死んでしまつた。イラクだけ

こんな目にあつて、かわいそうだと思つた。

今、世界はこんな風だけれども、この平和

を願つて、いっしょになつてや、いっしょにな

る。だからさう言う人達に協力してや、てい

く、いいと思つた。例えば募金の時に協力す

るなどして世界の人が良いくらしがてきあふ

うにすゑと良いいと思つた。だから生活してい

時でも世界も良いく知、ていくことも大事に思

思つた。

三穂小学校

(4) データベースを活用できる子どもを育てる 4年13名

① 学習の展開 [概要] 「アテネオリンピックの日本の選手の活躍について調べよう」

	学 習 内 容	I T の 学 習 内 容	時 間
I	アテネオリンピックで活躍した日本の選手のだれについて調べるか決める。		0.5
II	自分の調べたい選手について検索してみる。	○ データベースの基礎知識 ○ キーワードによる検索法	0.5
III	必要な記事をデータベースから検索してプリントアウトする。	○ プリントアウトの方法 ○ 絞り込みのテクニック	2
IV	プリントアウトした記事をレイアウトしてミニ新聞にまとめる。		1

② 学習の様子から

- 検索の方法は、それぞれの新聞社によって多少違うが、キーワードや日付で検索していく基本的な方法は同じである。子どもたちが、その方法を理解して検索することに問題はない。
- 他のコンピュータ操作もそうであるように、データベースの検索においても、トラブルはつきものである。各新聞社によっても、そのトラブルの現れ方は違う。たいがい、ログインを再度し直すことで解決するが、子どもたちに対処方法を伝え広めていくことが有効であった。

○ 検索の結果、大量の記事に当たるときと、0になるときがよくある。大量の記事に当たったときには、次の絞り込みをなんというキーワードで行うか、あるいはざっと見た中からどの記事に見当をつけて開くかがその子のセンスとなる。0となったときには、反対にキーワードをどう広げていくかが、ポイントとなる。



○ データベース記事は、写真や見出しが無いので、やはり「文章を読み取る力」が重要となってくる。基本はこの力である。

○ 四年生では、データベースの記事を読みこなしていくのが難しい。

4. 実践の成果と課題

- (1) 新聞を読む力を高め、身近に置き、親しませることで、新聞を読み活用する子どもたちを育てることができる。
- (2) 同時に、漢字力や段落の概要をつかむ力を意識的に育てていくことが、新聞を読める子どもを育てることにつながる。
- (3) こうした中で、小学生であっても、新聞を通して社会へ目を開き、自分なりのテーマで未来を展望していくことができそうである。
- (4) 小学生でも、新聞のデータベースを活用して学習していくことができる。自分の興味があることについて調べていくことがよい。